

# チャノキイロアザミウマ情報第4号

平成26年8月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 発生の状況

カンキツほ場（蒲郡市、南知多町）に設置した黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの誘殺数は、7月第1半旬に第3世代成虫の発生ピークを迎えました。発生量は、平年並の状況です（図）。

7月下旬に行ったほ場周囲における本種の生息数調査（カンキツ24ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）では、3.8頭（平年4.9頭）で、平年並の発生量です。

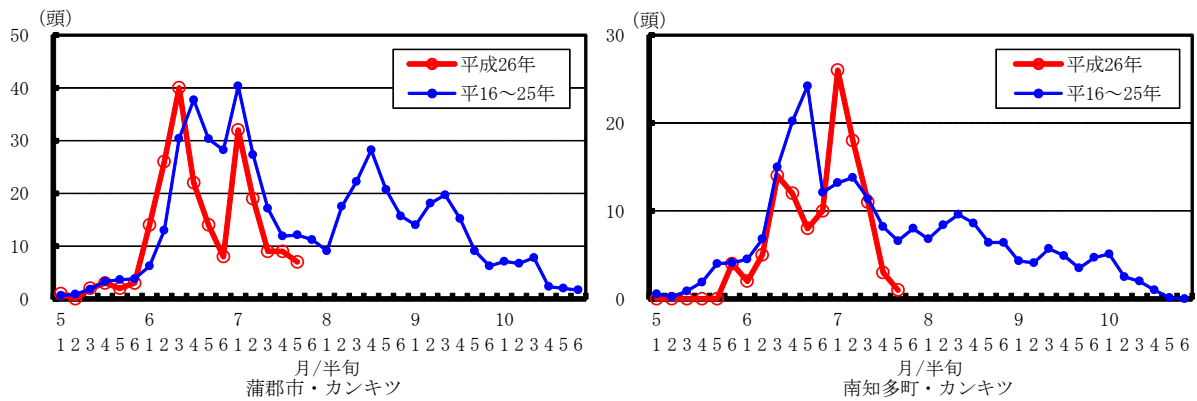


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

## 2 発生ピーク日の予測と防除

稲武を除いた地域における第5世代成虫の発生ピーク予測日は、ほぼ前年並の8月9日から20日です（表1）。カンキツでは、この時期に加害されると果頂部に被害が出ます。成虫の発生ピーク時が防除適期ですので、発生が多いほ場では表2を参考に防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第4世代	7/27	7/29	7/23	7/28	7/30	7/28	7/29	7/28	8/2	8/25
第5世代	8/13	8/16	8/9	8/15	8/16	8/14	8/16	8/15	8/20	9/19
（前年）	8/15	8/14	8/10	8/17	8/18	8/15	8/14	8/13	8/21	8/21 <sup>*</sup>
前年差	2日早	2日遅	1日早	2日早	2日早	1日早	2日遅	2日遅	1日早	4日遅 <sup>*</sup>
第6世代	8/30	9/3	8/26	9/1	9/3	9/1	9/2	9/2	9/8	—

各地のアメダス日平均気温から7月31日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋のみ前年値）を用いて計算。前年の第5世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

※稲武については、第4世代の前年ピーク日と前年差。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
カキ	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
	モスピラン顆粒水溶剤
カンキツ	アドマイヤー顆粒水和剤
	コテツフロアブル
	スタークル／アルバリン顆粒水溶剤

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。